

## 2023ワールド・ベースボール・クラシック優勝、ウイニングボール展示

3月21日（現地時間）、WBC決勝戦が米国マイアミのローンデポ・パークで行われ、野球日本代表侍ジャパンが、米国を3-2でやぶり、7戦全勝で3大会ぶり3度目の世界一を獲得しました。

当博物館では大会主催者や侍ジャパンのチームを運営するNPBに関連資料収集の依頼を行い、その目玉の資料として侍ジャパン全7試合のウイニングボールを収集することができました。

東京ドームで開催された1次ラウンド4試合と準々決勝については、すべて試合終了直後にチームスタッフより入手、栗山英樹監督に対戦相手と日付、

サインを書きこんでもらいました。そして深夜、博物館に展示し、翌朝10時の開館から公開しました。また、準決勝メキシコ戦は村上宗隆選手のサヨナラ二塁打で決着がつかしましたので、このサヨナラ二塁打の打球に、栗山監督と村上選手にサインを書いています。そして、決勝戦のウイニングボール（大谷翔平投手がマイク・トラウト選手からスライダーで三振を奪った際のボール）には、栗山監督のサインと「WBC優勝」の文字を書き入れて頂いており、この2点は23日のチームの帰国の際にスタッフから預かり、翌24

日より公開しています。

これらのボールは当博物館で展示中です。ボールを通じて、かつてないほどの大きな熱狂の記憶がよみがえってくるものと思います。

公益財団法人 野球殿堂博物館  
学芸員 関口貴広

